

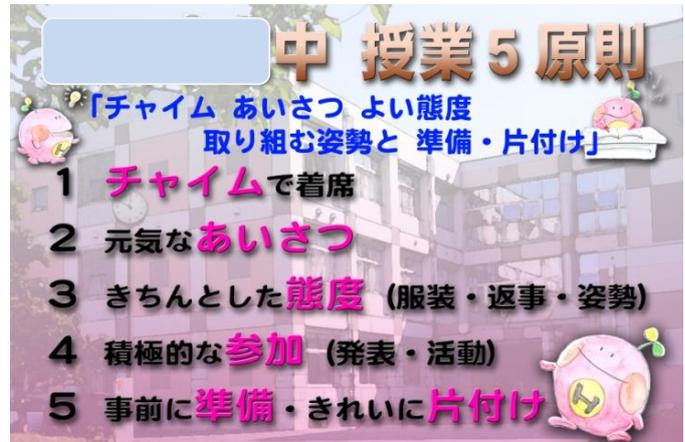
基礎・基本の習得と知識・技能の活用を図る学習指導の工夫・改善

【加須市教育委員会】

1 学力向上の取組

(1) 授業5原則の制定

学力を向上させるためには、まず授業規律を確立することが大切ととらえ、生徒会と代表委員会による話し合いで、授業5原則を策定した。その後生徒会が生徒朝会で全校生徒に呼びかけたり、生活委員会が授業規律のチェックを行って優秀クラスを表彰したりして、生徒の意識の向上を図った。教師も授業5原則を徹底する指導を行った。右にあるポスターは生徒会が各教室や校内に掲示したものである。



(2) 各教科の取組プランの作成

全ての教科で、「基礎・基本の習得」「知識・技能を活用した表現力の育成」を授業の設計の中心に据え、授業改善を行った。教科ごとに課題を洗い出し、基礎・基本の習得状況を確認する手立て「2分間チェックタイム」、および表現力を身につけるための手立てをまとめ、確実に実践することで教師の意識改革を図った。

【国語科の例】

〇〇2分間チェックタイム (知識・技能習得の場面)	教科で身に付けたい表現力	知識・技能の活用を図り、表現力を身に付けるための手立て
〇授業の導入時に、小テスト(漢字、文法等)を行い、知識の定着を図る。また、前時で学習した用語や知識を確認する。	〇自分の考えを相手にわかりやすく話したり、書いたりする力。 〇新しく身に付けた言葉や技法を用いて豊かに表現する力。	〇漢字テストや小テストの実施、また、掲示物等を用いて語彙力を高める。 〇自分の考えや意見を短い文章にまとめたり、発表したりする。 (習慣化を図る)

(3) 家庭学習のすすめ

生活記録ノートに、毎日家庭学習ができるようなスペースを設け、生活・学習記録ノートとした。教科ごとに学習のワンポイントアドバイスを提示し、一人で学習に取り組めるよう工夫した。アドバイスは「基礎を固めたい人」「応用・発展的な学習をしたい人」という二つのコースに分けて、提示している。教師は毎日日記と学習内容をチェックし、励ましの言葉やコメントを添えて返却している。



2 成果と課題

【成果】・授業5原則の指導の徹底により、学習規律の向上が図れた。

- ・全教科で、言語活動の充実を図る授業改善を行うことにより、生徒が主体的に活動する授業が増えた。また、生徒の表現する場が増え、表現力の向上につながった。

【課題】・授業の改善は図られつつあるが、学力テスト等の結果に結びついていない。

- ・家庭学習の取組、学習に対する興味関心に大きな差がある。取り組まない生徒への働きかけや指導の工夫が必要である。